
二人の太平洋艦隊司令長官

鰐大根

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

二人の太平洋艦隊司令長官

【Nコード】

N78720

【作者名】

鰐大根

【あらすじ】

もうひとつの太平洋の裏事情

開戦編

1941年2月5日
ハワイ

オアフ島の太平洋艦隊司令部に新任のハズバンド・E・キンメル海軍大將が着任した。

当時、日本との関係は悪化の一途を辿っており、日本の更なる戦線の拡大を牽制する目的で、太平洋艦隊の戦艦八隻を第20回大演習後、そのままハワイに駐留させる案がルーズベルト大統領から上がった。

しかし、この進出に真っ向から反対したのが、太平洋艦隊司令長官ジエームズ・O・リチャードソン海軍大將だった。

彼の言い分は

（牽制などんでもない！ハワイになんて戦艦を出したら、日本軍は飛び付いてくる。

飢えた虎の目の前に、肉を放り出すようなものだ！

牽制ならば西海岸のサンディエゴからでも十分だ）

と主張したが、ルーズベルトからの返答は、太平洋艦隊司令長官解任、予備役編入降格処分であった。

そしてこの日、キンメルが司令長官としてパールハーバーに到着した。

長官公室において、リチャードソン海軍少將から諸事を引き継いだ
が、それには公務以外も存在した……

リチャードソンは人払いを命じる。

そしてアナポリス（海軍士官学校）三期後輩のキンメルに、眼鏡の

奥に暗い光りを宿して語り出した。

「キンメル、君がルーズベルト大統領のお気に入りなのは今回の人事からして、分かっているが、太平洋艦隊司令長官に就任するにあたって、今は非常に危うい状況だと忠告しておこう。」

我が国は日本の行動を止めようと圧力を加え続けている。我が太平洋艦隊のハワイ進出がそれだ。

が、このままで日本が屈服するなどは、到底思えない。日本の行動には十分注意しろ。19の件もある、ハワイが安全な地などとは思わぬ。

キンメル、今回の人事に不満が無いと言えば嘘になるが、閥など関係無く、先輩から後輩へのアドバイスだ。

太平洋艦隊の全責任は、君が負う事になる事を忘れるな……」
リチャードソンはキンメルにこの話をして、失意の中本土へと戻った。

キンメルはこの忠告を重く受け止め、独自にハワイと本土の情報網を駆使、ブレマーントンの暗号解析班との接触を図るなど奔走し、運命のニイタカヤマノボレ1208を傍受する。

空母艦載機による奇襲成功を裏付けた、第19回演習を遙かに上回る規模で来襲した南雲機動部隊を、基地航空戦力を持って撃退し、本国、ルーズベルトを驚かせる。

日米開戦

狂った歴史の歯車が回り出す……

（後書き）

真珠湾奇襲のひとつの可能性。ちなみに作者は陰謀説否定も肯定もしてません。

少し警戒してたら失敗したでしょうし、軍令部も分析してますし、成功の可能性は五分五分ですかね？

成功したのを失敗させるなんて、変わってるよなあと自覚。
つな訳で開戦前的一幕でした。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7872o/>

二人の太平洋艦隊司令長官

2010年11月8日06時17分発行